

事業者向け 放課後等デイサービス評価表(平成30年度)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適当であるか	○			指導訓練以外にもスヌーズレンの部屋やリハビリルームなど他で過ごせる場があり、固定の部屋だけでなく療育の場を確保している
	②	職員配置や専門性は適切であるか	○			設置基準に準じた職員配置、専門職が配置されている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所としては2階にあるが、昇降には手摺りだけでなく肢体不自由の方用にリフトを設置している。
業務改善	④	事業改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			事業所会議を月に一度、ケース会議を週に1回行い、サービス内容等について職員で話し合い行われている内容についてチェックし事業計画へと繋げていくようにしている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			前年度の中の要望の中で受け入れ時間を早くしてほしいとの声が挙がり、今年度は受け入れ時間を変更して対応した。今後も利用児・保護者ニーズに応えていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		・昨年は保護者に結果を配布。年度内にホームページにて公開を行う
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は受けていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人の職員会議や県実施の初任者研修などに参加している。事業所内研修も行っているが外部研修が少なく今後の課題である
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成している	○			今年度アセスメント用紙を作成半年に一度、個別支援計画を作成する時にアセスメントをしておし、課題の分析を全員で行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			現在、事業所内で統一されたアセスメントシートは利用しているが、一般的に標準化された物ではない。今後ガイドライン内にあるアセスメントシートの利用を計画、実施する
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数の支援員が中心に立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用する利用児に合わせて活動プログラムを計画、簡単なおやつづくりや園外活動などは土曜日に行っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			児童が利用する時間の長さに応じて遊びを設定し、実行している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			活動は設定していても、その時の状況により変化させ柔軟に対応している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			平日は14時、学校休業日は9時に必ず打ち合わせの時間を設け、確認をしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日又は次の日に必ず振り返りを行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録は記述してある。問題があった場合にさらに詳しく分析できる記録用紙を4月から導入予定である
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の必要性を判断しているか	○			最低半年に一度は保護者に対して面談を行って、利用の方向性を確認している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援しているか	○			ガイドライン研修を事業所内で行い、活用している

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	○		定期的に会議に児童発達支援管理責任者が支援より情報を得て現在は参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切におこなっているか	○		年間計画や行事予定など学校へ連絡をして情報を得たり、毎月学校から知らせてもらっている学校もある。学校でのトラブルの把握については簡単なメモで情報提供してもらえるよう連携してる学校もある。また学校の連絡帳の確認を許可していただいている利用児については学校の連絡帳にて健康状態など把握に努めている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在在籍児がいないが、必要な場合には連絡体制を取る用意はある
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		新一年生については在園している、児童発達支援センターより保護者の許可の元サポートブックの情報提供を促し、様子観察をする機会を設けている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当される方が今までいません
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターのSTに助言をいただいたり、発達障害支援センターの研修を受講したりしている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在行っていない。来年度地域の児童クラブなどどのような形で一緒に活動が出来るか計画中である
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		豊築自立支援協議会の子ども部会に所属している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		定期的な面談や適宜連絡し状況の共通理解を行っている
保護者への説明責任	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		生活相談を受けた時にペアレントトレーニングという言葉を使い説明する場合と、言葉を使用しないで説明する場合があるが考え方としては取り入れ説明をしている
	㊳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		重要事項の説明の中で行い、変更があった場合には文章にて行っている
	㊴	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談時や送迎時を中心にに行い必要に応じて連携機関に繋ぐようにしています
	㊵	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		現在保護者会等存在していない。今回のアンケートの中で要望が出たので他の保護者に対してアンケートを取る予定としている
	㊶	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		契約時に体制については説明しており、苦情があった場合についての手順がある
	㊷	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		事業所単独の会報はない。法人の広報はある。来年度事業所単独の広報を計画予定がある
	㊸	個人情報に十分注意しているか	○		研修等受講し、意識を高められるようにしている
	㊹	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言葉だけの支援ではなく文字や写真、具体物を活用して子ども達の意志を尋ねたりしている
	㊺	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		事業所単独の行事は行っていないが、法人の福祉文化祭に当事業所も参加し地域住民の方々が参加できる行事に参画している

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員については行っているが、保護者の方々については公開の仕方について検討中である
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一回避難訓練をおこなっている。今年度は火災、風水害、地震を想定し行った
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の研修を毎年最低一回、受講している。その他どのような事が身体拘束にあたる可能性があるのか話合う機会を設けている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に解決し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在個別支援計画に記載し身体拘束を行っている児童はいない。必要な児童がいる場合には保護者の了解を得た上でどのような手順で行うのかは支援員で確認している
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーのある児童が在籍していない。薬の飲み合わせの問題で摂取してはいけない食べ物がある児童については職員で周知し、対応している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			現在、報告書を作成し、周知し危険防止の取り組みを行っている。今後は定期的に事例検討の時間を設ける事を計画中である。